

前橋市子ども・子育て支援事業計画の見直しについて

1 教育・保育施設の充実

【1号認定】

●黒塗りの部分が事業計画の値

項 目	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
ニーズ量(計画値)(A)	3,986	3,917	3,869	3,833	3,714
1号認定 + 私立幼稚園入所者数(B)	4,295	4,087	4,076	4,029	3,984
計画値に対する入所者数の割合①(B/A)	108%	104%	105%	105%	107%
確保方策(1号認定)	3,765	4,353	4,322	4,292	4,265
確認なしの幼稚園定員	2,619	1,888	1,888	1,888	1,888
確保方策合計	6,384	6,241	6,210	6,180	6,153
【参考】確保数(認定こども園+幼稚園の定員)(C)	6,085	5,801	5,260	5,042	4,162
1号認定 + 私立幼稚園入所者数に対する確保数の割合②(C/B)	142%	142%	129%	125%	104%

※入所者数は、各年度3月1日の数字。

※確認なしの幼稚園とは、新制度に移行しない幼稚園。

- ・実際の入所者数は、ニーズ量に対して+-10%以内となっている。(参考①)
- ・実際の確保数は、実際の入所者に対して、現状では平均して140%程度を確保しており、31年度においても20%弱の余裕がある。(参考②)
- ・確保方策の計画値が大きいの、私立幼稚園の認可定員数で計画したため、実際の確保数は利用定員数(実態に即した定員)になる。
- ・平成31年度の実際の確保数が少なくなるのは、公立を除く幼稚園がすべて新制度に移行し、認可定員数が利用定員数に変わるため。

【見直しについて】

●平成28年度までの入所者数は、ニーズ量とのかい離が10%以内で収まっており、平成31年度においても、かい離は10%以内である。確保数は計画値を下回っているが、ニーズ量は計画通りに進むため、見直す必要性はないと考えられる。

【2号認定】

●黒塗りの部分が事業計画の値

項 目	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
ニーズ量計画値(A)	4,027	3,956	3,911	3,871	3,752
2号認定入所者数(B)	4,279	4,227	4,351	4,184	4,050
計画値に対する入所者数の割合①(B/A)	106%	107%	111%	108%	108%
確保方策(2号認定)	5,145	5,265	5,321	5,366	5,419
【参考】確保数(保育所(園)+認定こども園の定員)(C)	4,404	4,514	4,650	4,859	4,932
2号認定入所者数に対する確保数の割合②(C/B)	103%	107%	107%	116%	122%

※入所者数は、各年度3月1日の数字。

- ・実際の入所者数は、ニーズ量に対しておおむね±10%以内となっている。(参考①)
- ・入所者に対する実際の確保数の割合は100%を超えているので、確保ができています。(参考②)
- ・女性の就業率が上がっていても、十分に受け入れ可能な数を確保していけると考えられる。
- ・1号認定で入所後に、2号認定への変更も多くみられるため、計画値よりも入所者数が増えている。

【見直しについて】

●平成28年度までの入所者数は、ニーズ量とのかい離が10%以内で収まっており、平成31年度においても、かい離は10%以内である。確保数は計画値を下回っているが、ニーズ量は計画通りに進むため、見直す必要性はないと考えられる。

【3号認定】1・2歳

●黒塗りの部分が事業計画の値

項 目	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
ニーズ量計画値(A)	3,066	3,014	2,963	2,916	2,876
認可施設に入所している人数(B)	2,433	2,665	2,660	2,594	2,563
認可外施設に入所している人数(C)	163	202	227	218	209
認可施設入所者の計画値に対する割合(B/A)	79%	88%	90%	89%	89%
認可外も含めた入所者の計画値に対する割合 ((B+C)/A)	85%	95%	97%	96%	96%
確保方策	2,730	2,971	3,131	3,136	3,147
確保方策(認可外保育施設)	234	234	234	234	234
確保方策合計	2,964	3,205	3,365	3,370	3,381
【参考】確保数 (保育所(園)+認定こども園+認可外施設の定員)(D)	2,430	2,575	2,711	2,830	2,878
入所者数に対する確保数の割合②(D/(B+C))	94%	90%	94%	101%	104%

【3号認定】0歳

●黒塗りの部分が事業計画の値

項 目	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
ニーズ量計画値(A)	766	740	720	701	685
認可施設に入所している人数(B)	608	644	712	691	662
認可外施設に入所している人数(C)	49	90	85	82	78
認可施設入所者の計画値に対する割合(B/A)	79%	87%	99%	99%	97%
認可外も含めた入所者の計画値に対する割合 ((B+C)/A)	86%	99%	111%	110%	108%
確保方策	685	749	797	799	804
確保方策(認可外保育施設)	169	169	169	169	169
確保方策合計	854	918	966	968	973
【参考】確保数 (保育所(園)+認定こども園+認可外施設の定員)(D)	581	636	677	747	747
入所者数に対する確保数の割合②(D/(B+C))	88%	87%	85%	97%	101%

※入所者数は、各年度3月1日の数字。

【3号認定】まとめ

●黒塗りの部分が事業計画の値

項 目	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
ニーズ量計画値(A)	3,832	3,754	3,683	3,617	3,561
認可施設に入所している人数(B)	3,041	3,309	3,372	3,285	3,225
認可外施設に入所している人数(C)	212	292	312	300	288
認可施設入所者の計画値に対する割合(B/A)	79%	88%	92%	91%	91%
認可外も含めた入所者の計画値に対する割合 ((B+C)/A)	85%	96%	100%	99%	99%
確保方策	3,415	3,720	3,928	3,935	3,951
確保方策(認可外保育施設)	403	403	403	403	403
確保方策合計	3,818	4,123	4,331	4,338	4,354
【参考】確保数 (保育所(園)+認定こども園+認可外施設の定員)(D)	3,011	3,211	3,388	3,577	3,625
入所者数に対する確保数の割合②(D/(B+C))	93%	89%	92%	100%	103%

- ・実際の3号認定入所者は、ニーズ量に対して28年度は88%であるが、認可外の入所者を入れると、おおむね±10%以内となっている。(参考①)
- ・入所者に対する実際の確保数は、今後は100%を超える見込みのため、確保ができています。(参考②)
- ・認可保育施設を希望しているが、やむを得ず認可外保育施設を利用している人もいますので、認可保育施設において確保できることが望ましい。

【見直しについて】

●平成28年度までの入所者数は、ニーズ量とのかい離が10%以内で収まっており、平成31年度においても、かい離は10%以内である。確保数は計画値を下回っているが、ニーズ量は計画通りに進むため、見直す必要性はないと考えられる。

地域子ども・子育て支援事業の見直しについて

2 地域子ども・子育て支援事業

01 利用者支援事業

項 目	単 位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み(ヶ所数)	(ヶ所)	1	1	1	1	1
確保方策		1	1	1	1	1
実績値		1	2			

02 地域子育て支援拠点

項 目	単 位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み(月当たり延べ利用回数)	(人回)	165,180	159,984	155,208	150,864	147,048
確保方策(拠点数)	(ヶ所)	16	16	16	16	16
実績値	(月当たり延べ利用回数)	92,712	91,158			
	(拠点数)	16	16			

03 妊婦健診

項 目	単 位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み(年間延べ回数)	(人回)	35,070	33,950	35,840	32,200	31,500
実績値		30,531	29,832			

04 乳児家庭全戸訪問

項 目	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み(実人数)	(人)	2,460	2,381	2,316	2,259	2,210
実績値		2,502	2,407			

05 養育支援訪問事業

項 目	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み(実人数)	(人)	81	79	77	75	73
実績値		58	112			

05-1 子どもを守るネットワーク

項 目	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
実施予定(事業実施の有無)		○	○	○	○	○
実績(実施の有無)		○	○			

06 子育て短期支援(ショートステイ)

項 目	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み(年間延べ利用回数)	(人日)	42	42	42	42	42
確保方策		42	42	42	42	42
実績値		75	22			

07-1 子育て援助(就学後)…ファミリーサポート

項 目	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み(年間延べ利用回数)	(人日)	3,017	2,655	2,336	2,056	1,809
確保方策		3,017	2,655	2,336	2,056	1,809
実績値		3,012	3,036			

07-2 子育て援助(病児・緊急対応強化事業を除く)

項 目	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み(年間延べ利用回数)	(人日)	2,483	2,433	2,384	2,336	2,289
確保方策		2,483	2,433	2,384	2,336	2,289
実績値		2,465	2,474			

07-3 子育て援助(病児・緊急対応強化事業)

項 目	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み(年間延べ利用回数)	(人日)	50	50	50	50	50
確保方策		50	50	50	50	50
実績値		22	10			

08-1 一時預かり(幼稚園在園児)

項 目	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み(年間延べ利用回数) 不定期利用(1号利用)	(人日)	4,619	4,537	4,486	4,440	4,303
常時利用(2号相当)		37,393	18,368	0	0	0
確保方策		42,012	22,905	4,486	4,440	4,303
実績値		48,996	48,648			

08-2 一時、援助、トワイライト

項 目	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み(年間延べ利用人数)	(人日)	13,243	12,881	12,581	12,312	11,960
確保方策		13,141	12,779	12,479	12,210	11,858
一時預かり事業(幼稚園在園児対象を除く)		100	100	100	100	100
子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター事業(病児・緊急対応強化事業を除く))		2	2	2	2	2
子育て短期支援事業(トワイライトステイ)		17,652	11,808			
実績値		2,465	2,474			
一時預かり事業(幼稚園在園児対象を除く)		0	0			
子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター事業(病児・緊急対応強化事業を除く))						
子育て短期支援事業(トワイライトステイ)						

09 延長保育

項 目	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み(実人数)	(人)	3,342	3,261	3,195	3,135	3,047
確保方策		3,342	3,261	3,195	3,135	3,047
実績値		1,217	1,445			

10 病児・病後児保育事業

項 目	単 位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み(年間延べ利用人数)	(人日)	7,259	7,082	6,938	6,808	6,616
確保方策 病児・病後児対応型		1,460	1,460	1,460	4,380	6,566
子育て援助活動支援事業(病児・緊急対応強化事業)		50	50	50	50	50
実績値 病児・病後児対応型		453	466			
【参考】体調不良児対応型		3,816	4,117			
子育て援助活動支援事業(病児・緊急対応強化事業)		22	10			

11 放課後児童健全育成事業

項 目	単 位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み(利用人数)	(人)	3,968	3,909	3,852	3,772	3,721
(内)低学年		2,553	2,522	2,474	2,390	2,356
高学年		1,415	1,387	1,378	1,382	1,365
確保方策 登録児童数		2,794	3,054	3,314	3,534	3,721
放課後児童クラブのクラブ数	(ヶ所)	51	55	59	63	71
(内)一体型の放課後児童クラブ及び放課後子供教室のクラブ数		1	5	10	17	23
(内)放課後子供教室の整備数		43	44	45	46	47
実績値 登録児童数	(人)	2,874	3,296			
放課後児童クラブのクラブ数	(ヶ所)	57	61			
(内)一体型の放課後児童クラブ及び放課後子供教室のクラブ数		27	28			
(内)放課後子供教室の整備数		28	31			

12 実費徴収補足給付

項 目	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
実施予定(実施の有無)		○	○	○	○	○
【参考】給付数	(人)	72	69			

13 多様な主体の参入促進事業

項 目	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
実施予定(実施の有無)	/	×	×	×	×	×
実績の有無		×	×			

■ 計画値の見直しを行わない事業について

●02 地域子育て支援拠点

・量の見込みに対する実績値は少ないが、認知度を更に上げていき実績値を増やしていきたいため、量の見込みを目標値としたいため、見直しは行わない。

●03 妊婦健診

・量の見込みよりは実績値が少ないが、量の見込みを目標値としたいため、見直しは行わない。

●04 乳児家庭全戸訪問

・量の見込みとほぼ実績値は変わらないため、見直しは行わない。

●05 養育支援訪問事業、05-1 子どもを守るネットワーク

・年度による増減はあるが、平均すると量の見込みに落ち着くと考えられるため、見直しは行わない。

●06 子育て短期支援(ショートステイ)

・年度による増減はあるが、平均すると量の見込みに落ち着くと考えられるため、見直しは行わない。

●07-1 子育て援助(就学後)…ファミリーサポート、07-2 子育て援助(病児・緊急対応強化事業を除く)、07-3 子育て援助(病児・緊急対応強化事業)

・ファミリーサポートセンターの事業として3つをまとめて量の見込みを算出するが、トータルで大きな差はなく、児童クラブ等への振り替えも考えられることから、変更はしない。

●09 延長保育

・量の見込みに対する実績値は少ないが、今後の保護者の働き方の変化も考えられるとともに、量の見込みを目標値としたいため、見直しは行わない。

●10 病児・病後児保育事業

・実施する施設数が、まだ目標数に達していないため、実績値は少ないが、平成30年度以降に目標とする4か所の設置が完了すると量の見込みに達すると考えられるため、見直しは行わない。

●11 放課後児童健全育成事業

・量の見込みとほぼ実績値は変わらず、施設数も概ね計画通りに設置しているため、見直しは行わない。

■ 計画値の見直しを行う事業について

(1) 利用者支援事業

- ・特定型として、子育て支援の助言や保育所等の入所相談等を受ける窓口を設置。
- ・平成28年度に、母子保健型として保健師等が妊産婦等を対象にした利用者支援を開始するとともに、保育コンシェルジェを設置。
- ・事業形態が二つとなったため、計画上の量の見込みを「2」と上方修正したい。

(2) 一時預かり(幼稚園在園児)

- ・当初は、2号相当にあたる人が、2号認定に移行するため、幼稚園から移動すると想定していた。
- ・認定こども園へ移行後、2号認定にはならず、1号認定のまま、一時預かりを利用している。
- ・この傾向は今後も続くとみられるので、量の見込みを上方修正したい。

(3) 一時、援助、トワイライト

- ・子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター事業(病児・緊急対応強化事業を除く))に記載すべき数字が間違っていた。
- ・本来は、「07-2 子育て援助(病児・緊急対応強化事業を除く)」の数字が、再掲されるべきであった。
- ・そのため、平成30年度以降の確保方策の数値を修正したい。